

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第50回放送の概要 (2012年6月23日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なかちゃん (中嶋邦弘)

## コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)  
一ノ瀬悟

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

(CM) エキストラ珈琲は、神戸で初めてのコーヒー豆焙煎問屋として、大正12年に誕生。その伝統ある個性的な存在は、高級コーヒーを厳選し、評価に値する味を提供する店として、広く皆様に愛されています。大河ドラマ「平清盛」にちなみ、清盛コーヒーを販売中で、「清盛茶屋」の運営にも携わっています。本日はエキストラ珈琲様 (電話 078-671-0135) のご協力を頂きました。

(CM) 「7つ 8つ 9つ とう といち」でおなじみの「十一の奈良漬」は、「灘の生一本」の酒粕に漬け込み仕上げた自慢の味です。食事の締めくくりに、サンドウィッチや巻寿司などにも御愛用ください。今日は、「十一の奈良漬」黒田食品さまの御協力を頂きました。

## 1. オープニング

兵庫高校卒業 50 周年を記念して、有志が兵庫県縦断ウォークをしています。日和山海岸から始まったウォークが 6 月 17 日に福崎まで来ました。次回からは東を向いて歩き、最終は兵庫高校まで歩く予定です。

今日は番組が開始して 50 回目になるので、ゲストコーナーの前半は、わだかんさんの司会で FM わいわいの総合プロデューサーの金千秋さんと、アフタヌーンねねから今井正さんのお二人からみた我々の番組に対するご意見を伺います。

## 2. ゲストコーナー (1): FM わいわい 金千秋さん、アフタヌーンねね 今井正さん

今井さんは、アフタヌーンねねの 2009 年 4 月 18 日放送の「いまいちばんコーナー」でゆうかりに乾杯を放送開始前に紹介している。ゆうかりに乾杯が始まったきっかけは、金千秋さんが兵庫高校 OB が「ねね」に多数出演していたのを見て、自分たちの番組を持ったかどうかと声をかけたのが始まりである。番組を始めるに際してはどんな番組にするのか、オープニングをどうするのか、タイトルをどうするのかなど、われら学校放送部の生徒が放送を始める時と同様の、コンセプトを作るところから始めたのは凄いことだと感じた。番組名が「ゆうかりに乾杯」に決まったことにより、乾杯に始まり乾杯で終わることが出来るようになった。オープニングのビールを注ぐ音と兵庫高校の応援エールに特徴があり、収録に際しては練習を何度も行った。今井さんはゆうかりの HP をよく見ているが、兵庫高校が甲子園に出場したことを知り驚いたこと、ゲスト出演した人が良く知っているホテルオーナーやコーヒー問屋の社長であることを知り、メンバーの広がり大きさにびっくりした。

FM わいわいは 7 校の高校生が放送に参加している (われら学校放送部)。4 週あるので 2 校ずつ (1

校は2週担当)出演している。県立、市立、私立の高校が入っているが兵庫高校は入っていない。「ゆうかりに乾杯」により世代を越え、兵庫高校出身の企業家がここに集っている様子を見、また現役の高校生も出演しているので新しい形のわれら学校放送部になっている。

今井さんは放送後のゲストを交えたちょっとバーでの懇談の様子を見て、ゆうかりに乾杯は人の輪が繋がって広がっていることを強く感じている。今井さんがミキサーの門ちゃんを山の会に誘ったところ、門ちゃんと同級生が会員であることがわかり、また後輩を勧誘し会員になったことから、ゆうかりに乾杯が力を発揮していると感じている。1年に1回総会時に、たかとりコミュニティセンターの中庭でバーベキューパーティを行っているが、今年は100人近くの人に参加してもらった。ゆうかり関係者だけでなく、地域の人も含め色んな繋がりが出てきたと感じている。長田高校出身の人の話では、火を起こしても中々ここまで広がらないので、うらやましがっているそうです。ゲストをみると、学校の先生、お坊さん、シャンソン歌手、元区長など幅広い分野から出演している。またこれらの人にはFMわいわいのサポーターになることを勧めている。

今井さんは東京の高校で、80歳の先生を迎えた同窓会でお祝いをしたところ喜ばれ、このようなことをするクラスは少ないと言われ、その時の気持ちをその後校報に投稿されていた。兵庫高校は卒業し外に出て行っても帰ってくる場(母港)になっている。わだかんさんの3年1組の担任は61歳で亡くなられ、奥さんが出席されたクラス会の席で、帰宅するたびにこのクラスを持ってよかった、1組の生徒は優秀だと言っていたことを明かされた。今秋の卒業50周年の同窓会には、奥さんが出席していただけることになっている。

放送開始当初は放送時間が30分で短かったため、進行がうまくいかず放送スタッフは落ち込んでいた。このような時にアフタヌーンねねの皆さんが、暖かく見守ってくれていたのが、やる気が出てきた。ゆうかりに乾杯は放送後ホームページ(49陽会)に、音声と文書化した放送概要を掲載している。生放送に出ること、バーベキューに人を呼ぶこと、HPを作ること、HPを見て反応するなど、色んな形の付き合いがどんどん網掛けのように広がっている。これは兵庫高校、兵庫の力になっている。現役の兵庫高校生が町に出て行き、丸五市場で歌をうたい、清盛像を作る手伝いをし、長田商店街マップ作りなどの動きと、ゆうかりに乾杯が連動出来てきている。

金千秋さんからの要望としては、高校生の活動である町に出かけ、見える形でマップ作りをしたりしているが、そのようなことを取材し、写真などを撮り、放送でレポートするなどの取り組みをすると、町の活性化のためのコミュニティラジオとしてはありがたい。

### 3. ミュージック：天使にラブソングをから「Oh Happy Day」

あこちゃんの子供2人が初めに覚えた曲が、ウーピーゴールドバーグの映画「天使にラブソングを」の中の「Oh Happy Day」です。ゴスペルで神様に今を喜んで感謝しているよ、幸せだよと歌っています。

### 4. ゲストコーナ(2) 放送スタッフ全員

小山会計担当の苦労話です。最初さくらさんから会計を担当してくれないかと軽く言われ、乗りで引き受けた。会計は信用・信頼が大事でそのためにはディスクロージャー(公開)が大事であると認識している。放送の運営資金確保が必要で、そのため最も重要なのは浄財をいかに集めるかである。酒を飲むと普通の人には気が大きくなる。飲み会をした時は勘定の際に放送の趣旨を説明し、お願いベースで浄財を集めている。小山さんの浄財徴収に賛同してくれる人は、川柳の会の方、長田高校出身の方、整骨院の方などいろんな方である。一ノ瀬さんは、当初ミキサーの門ちゃんから、自分が出来ない時に手伝ってほしいと言われ参加した。初めのうち少し触るとチョンボばかりで門ちゃんの信頼を失い、その後門ちゃんが休むことがなく、出番がなくなった。50回の放送を続けることでなかちゃんが良かったと感じることは、視野、交友が広がったこと。さくらさんは放送メンバーとは学生時代話をした記憶はなかったが、放送を始めた途端旧知のように話が通じたことがよかった。タロウは放送を通じて面白い繋がりを感じたのは、ゲストに舞子高校環境防災科の諏訪清二先生と生徒さん、そして卒業生の岸本くるみさんが来られたが、岸本さんは神戸学院大学でFMわいわいのスタッフの稲田さんと繋がっていることが分かったこと、池亀みどりさん、はるみさんがゲストの時に、はるみさんとたかとりコミュニティ

センターの AWEPP (アジア女性自立支援プロジェクト) の有吉さんが大学の後輩、先輩の関係であることがわかり、有吉さんもゲスト出演してもらったこと、急にゲスト出演頂いた兼次さんは沖縄出身で、戦前の最後の沖縄県知事の島田観さんが兵庫高校前身の二中であるという関連がある。兼次さんは 7 月 8 日に開催される島田観さんを憶う会の運営に協力されている。このように放送を通じ新しい繋がりを発見できている。FM わいわいの他番組からゆかりに乾杯のゲストに、有吉さん、兼次さん出演してもらった。我々が他番組の事を全く知らないの番組交流も大事と思う。タロウが出演している金曜日の他番組「まちはイキイキきらめきタイム」では長田消防署の方などがゲスト出演されるので、地元の事を知るいい機会である。

## 5. なかちゃんの「こぼれた話、こぼれなかった話」：(世界)無形文化遺産の「壬生の花田植」を満喫

「世界遺産」といえば、姫路城など、みなさんご存知のことと思います。でも、お祭りなどの伝統文化も世界遺産なんです。

人々の慣習、描写、表現、知識及び技術、並びにそれらに関連する器具、物品、加工品及び文化的空間の「無形」のものでも、文化遺産として継承、保護されるべきものとして、ユネスコは、これら「無形文化遺産」を、2006年から「世界遺産」とは別の枠組みで、国際的に保護を進めています。

現在、日本で登録されているのは、能楽、人形浄瑠璃文楽、歌舞伎、雅楽、京都祇園祭の山鉾行事など20件です。2012年6月3日(日)、(世界)無形文化遺産に登録後最初の広島県山県郡北広島町の「壬生の花田植」が15,000人(昨年の約2倍)を迎えて繰り広げられました。

北広島町の地域振興活動・街おこしを指導している方の仕事仲間ということで、ご招待をいただき、中国自動車道で約3時間、広島と島根の県境にある千代田ICまで駆けつけて、この貴重な伝統文化の世界遺産を満喫してきました。

ささら竹を手にした「サンバイ」役の掛け声のもとに、大太鼓や小太鼓、手打ち鉦(かね)や笛でにぎやかな囃し方、十数人の早乙女が田植え歌を歌いながら田植えをし、飾り立てた飾り牛も十数頭が出て、豪華絢爛たる一大田植え絵巻が繰り広げられました。

注目すべきところは、

- ① 豊作と安全を願う農工行事「囃し田」を行う「田楽団(飾り牛・立人・囃子方・早乙女)」
  - ・花鞍に幟(のぼり)を立てた迫力満点の「飾り牛」の代掻き。
  - ・サンバイの親歌を引き取って、早乙女が子歌をうたうかけ合いの「田植え歌」。
  - ・苗運び、綱引きさんの「立人」。
  - ・田の神様三拝さんを演じ全体を仕切る「サンバイ」、大太鼓・小太鼓・笛・手打ち鉦(かね)の「囃子方」。
  - ・紺の着物にたすきかけ美しく装った「早乙女」さんたちの田植え。

- ② 花鞍に幟(のぼり)を立てた迫力満点の「飾り牛」の代掻き。

「壬生の花田植」の由来といえば、

- ① 広島県北西部の農村地帯には、古くは中世の頃から「囃し田(はやしだ)」と呼ばれる行事が伝えられています。
- ② 江戸時代後期から明治時代にかけて、大地主の田で行なわれた「大田植え」は、昭和になる頃、残念ながらいったん消滅してしまいました。が、その後「壬生の囃し田」「川東の囃し田」が再興されました。そのころから花やかで美しい田植えという意味で「花田植」と呼ばれるようになりました。
- ③ この2つが一緒になって、昭和51年に「壬生の花田植」として国の重要無形民俗文化財に指定。その後、保存伝承に努めて、35年後の昨年11月、世界が注目するユネスコの(世界)無形文化遺産として登録されました。

戦後の1950年代半ばからはじまる(昭和30、40年代の)高度経済成長期を境に、農業の機械化や農薬利用が急速に進んだ日本の現代農村社会にあって、先人たちが伝えていた牛の代掻き(しろかき)や、早乙女の田植えなどの貴重な生業技術が、古風を伝える田植え歌や楽器の囃しなどの民俗芸能とともに、

田の神さまに象徴される自然環境の恵みへの祈りと感謝の精神と、みごとに調和して保存伝承されていることが高く評価されたからにほかなりません。

この保存伝承活動も幅広く、田楽団には「子ども田楽団」もあって、小学生から80歳をこえるお年寄りも頑張っています。もちろん、親子や、夫婦もあって、地域の全世代を挙げて活動している様子は、都会ではちょっとみられない、羨ましい限りのコミュニティですね。

## 6. ゆうかり大好きコアラさんの地域かわら版

清盛歴史館において、雨天の日にはオリジナルグリーティングカードが先着30名に配られています。須磨離宮公園はあじさいが見所です。7月上旬までで、15種類8000株あります。6月29日(金)は津村美妃さん新しい出発のサクソフォンコンサートが兵庫県立芸術文化センターで開催されます。19時開演、一般2500円(当日は3000円)です。7月8日は島田叡さんの「沖縄の島守」を憶う夕べが神戸朝日ホールで17時~19時30分に開催されます。

**M's vol.1+ music note**  
◆名田綾子 作曲曲集◆

2012年6月29日(金)  
◆兵庫県立芸術文化センター 神戸女子学院小ホール  
◆19:00開演(18:30開場)  
◆一般¥2,500 / 高校生以下¥1,000  
(当日:一般¥3,000 / 高校生以下¥1,500)  
※未成年者の入場はご遠慮ください。

◆チケット取り扱い◆  
E-mail: [gossai@gossai.com](mailto:gossai@gossai.com)  
TEL: 078-330-8111(受付時間)  
兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス  
TEL: 078-330-8220  
http://www.gossai.com/

主催: 合同会社五輪屋 協力: 株式会社パールテラス美蘭 株式会社美見美術工房

兵庫・沖縄友愛提携四十周年記念

# 「沖縄の島守」を 憶う夕べ

2012年  
7月8日(日) (午後5時開演)  
会場 神戸朝日ホール 神戸市中央区浪元町59番地  
●入場料 / 1,000円 (一般学生)  
●第一部 講演 / 田村洋三 「沖縄の島守」著者  
ディレクション 「島守への憶い」  
司会 / 田辺眞人 (NHK放送文化センター主任)

(第二部) 音で綴る「沖縄への憶い」  
出演 / 鈴木一郎 (ソプラノ)、寺島夕紗子・創作エイサー 沖子旭  
兵庫高校O.B.吹奏楽団・合唱団ユイカリプラス  
主役 / 沖縄の島守を憶う夕べ実行委員会 後援 / 神戸新聞社、サンテレビジョン  
協賛 / 武庫川会、兵庫県沖縄友愛提携推進委員会の会 (想島守の会)

小島洋子先生著「島守の憶い」

Akira Shimada Memorial

## 7. 来週のゲスト

来週は兵庫高校総合科学類型の生徒さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：[yuukarinikanpai@gmail.com](mailto:yuukarinikanpai@gmail.com)